

技術の力で世界を変える！ エンジニアがテーマを創造する具体的な方法

～ 若手・中堅エンジニアがテーマ創出するための
実践的なノウハウを経験豊富な専門家が体系的に解説します ～

《開催要領》

- 日 時● 2015年 6月16日(火) 13:00～17:00
- 会 場● 企業研究会セミナールーム(東京:麹町)

講師 高収益企業支援家・弁理士 中村大介氏(株式会社如水 代表取締役)

講師紹介
立ち上げた事業を真似されて売上・利益が下がった経験、リーマン・ショックで売上が1/3になった経験を通じて、高収益でかつ安定な企業を作る必要に迫られました。高収益企業の特徴はなんだろうか？どんな施策を打っているだろうか？と考え続けています。高収益企業の特徴は研究開発にあります。経営・エンジニア・コンサルの実務経験に基づいて、様々な施策を日々生み出しています。自称高収益企業支援家です。東京大学大学院修了。弁理士



《開催にあたって》

～ 若手・中堅エンジニアがテーマを創出する具体的な方法を解説します。～

【若手・中堅の皆様へ】テーマ創出が仕事の一部であることを認識していますか？テーマ創出には方法があることをご存知でしょうか？テーマ創出はエンジニアの仕事であり、それには適切な方法があります。このセミナーでは、その方法を学び、実践するためのノウハウを解説します。【マネージャーの皆様へ】若手・中堅エンジニアが不完全燃焼になっていませんか？「やりたいことができない」状態ならば、エンジニアにはハウツー教育と時間捻出が必要で、「やりたいことが分からない」状態になっている場合はモチベーションにも火を付ける必要があります。このセミナーでは、どうすればそれが出来るのか、事例に基いて解説します。

《申込書》一般社団法人 企業研究会 セミナー事務局宛 **FAX:03-5215-0951**

*申込書をFAXでご送信いただく際は、FAX番号をお間違えないようご注意ください。
*申込書にご記入頂いた個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内にお送りする際に利用させていただきます。

■受講料:1名(税込・資料代含)

正会員 34,560円(本体価格 32,000円) 一般 37,800円(本体価格 35,000円)

151324-1010 技術の力で世界を変える！エンジニアがテーマを創造する具体的な方法			
ふりがな 会社名			
住 所	〒		
TEL	FAX		
ふりがな ご氏名	所 属	職 職	
E-mail			

■参加要領: 申込書はFAX、または下記担当者宛E-mailにてお送り下さい。当会ホームページからもお申込み頂けます。
後日(開催日1週間～10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。
※よくあるご質問(FAQ)は当会HPにてご確認ください。(【TOP】→【公開セミナー】→【よくあるご質問】)
※お申し込み後のキャンセルはお受けいたしかねますので、代理の方のご出席をお願いします。
■お申込・お問合わせ先: 企業研究会 公開セミナー事業グループ 担当/川守田 E-mail:kawamorita@bri.or.jp
TEL: 03-5215-3514 FAX: 03-5215-0951 〒102-0083 東京都千代田区麹町 5-7-2 麹町31Mビル2F

技術の力で世界を変える！エンジニアがテーマを創造する具体的な方法

6/16
(火)

13:00

1. 日本企業と取り巻く環境の変化と研究開発の現状
 - (1) 技術で勝って事業で負けていた時代
 - (2) 事業で負け続けている時代
 - (3) 疲弊する研究開発
 - (4) 短期テーマばかりの開発
2. 顧客価値の創造という視点
 - (1) 「顧客価値創造」の意味
 - (2) 顧客価値創造の事例
3. 技術の延長線と組み合わせ
 - (1) コア技術をどう定義するのか、定義することの意義は
 - (2) コア技術をどう共有するのか、共有することの意義は
 - (3) エンジニアはコア技術をどう認識するか
 - (4) エンジニア同士が社内で交流すべきなのは何か、どう交流するか
 - (5) コア技術の研究をどう続けるか
4. 質の良い情報
 - (1) エンジニアが質の良い情報に触れるべき理由
 - (2) 質の良い情報の例
 - (3) 先端ユーザーの課題
 - (4) 先端ユーザーの現場
 - (5) 未来予想の二次情報
 - (6) 課題情報をどう収集するのか
5. フレームワークによるテーマ発掘ノウハウ
 - (1) マクロトレンドを押さえる方法
 - (2) シナリオ・プランニングという手法とその使い方
 - (3) エンジニアにとっての3Cフレームワークの使い方
 - (4) エンジニアにとってのポジショニングの考え方
 - (5) エンジニアにとってのブルーオーシャン戦略
6. ロードマッピング
 - (1) 正しいロードマップの書き方
 - (2) 正しいロードマップのフォーマットは？
 - (3) ロードマッピングとステージゲート法の一体運用
 - (4) 社会-市場-商品-技術ロードマップ
 - (5) きれいなだけのロードマップに意味はない
7. 研究所エンジニアリング
 - (1) 幹部が考える研究所ガバナンス
 - (2) 理想の研究所は自治組織
 - (3) 研究所幹部が研究開発の生産性を変える主役
 - (4) 正しい予算の使い方

17:00

※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせて頂く場合がございます。

裏面もご覧下さい！ 一枚のパンフレットで
2種類のセミナーをご案内しております。